

防災道の駅やちよ基本設計
基本設計図書

概要説明書

目次

1. 計画条件

- (1) 基本方針・基本設計コンセプト 01
- (2) 敷地現況図 02
- (3) 敷地写真 03

2. 建築計画

- (1) 計画概要 05
- (2) 配置計画 06
- (3) 平面計画 07
- (4) 外装計画 09
- (5) 内装計画 10
- (6) サイン計画 11







■ 基本理念 ■

1 「農」「遊び」「防災」 兼ね備えた施設づくり

- ① 敷地の有効活用
- ② 適切な施設ゾーニングと動線計画
- ③ 室内空間の使いやすさ
- ④ 災害発生時の機能維持
- ⑤ さらなる賑わいの創出

- ・施設の玄関口となるエントランス空間の改良と共に、住民の憩いの場となるスペースの拡充。
- ・市のシンボルであり憩いの場である新川との一体的な施設づくりを計画。
- ・施設利用の利便性や快適性及びアプローチの強化を図るために駐車場整備・前面道路の拡張。

- ・道の駅リニューアルに伴い、活気のある施設づくりを目指す。
- ・農産物直売所を始めとする各店舗の魅力を十分に引き出すゾーニング計画。
- ・新川の景観を十分に取り込むと共に、特別な時間や非日常をゆっくり楽しめるレストラン整備
- ・24時間対応の防災便所（災害時にも対応可能な便所）及び授乳室の整備

- ・来客者が利用しやすく、わかりやすい動線計画。
- ・混雑時でも対応できるように搬入動線の工夫と強化。

- ・整形で明快なプランと関係諸室の連携的な使用に十分配慮する。
- ・適切な室形状と面積を計画する。
- ・木の温かみや香りに癒された非日常性を感じられる空間づくり

- ・耐震安全性を確保する。（構造体Ⅱ類、建築非構造体B類、建築設備乙類）
- ・ライフライン途絶時の機能維持の強化
- ・広域的な防災拠点として必要なハード面の強化として、防災倉庫の整備、臨時ヘリポートの整備

2 ライフサイクル コスト削減と長寿命化

- ① 省エネ建材の活用
- ② 省エネ対応
- ③ 維持管理のしやすさ

- ・計画地の軟弱地盤に対して適切な基礎構造及び外部空間の沈下・液状化対策を図る。
- ・材料製造時の炭素放出量がすくない木材を利用することで環境への負荷低減を図る。

- ・使用材料全般にわたり、強度、耐候性、防汚性等、高い機能性を確保し、建物の長寿命化を図る。
- ・省エネルギー設計に努める。
- ・日射、風雨等、自然環境が与える影響を抑え、居住性の向上及び建物の長寿命化を図る。
- ・環境面と同時に、ライフサイクルコストにおけるパッシブデザインの有効性についても検証する。

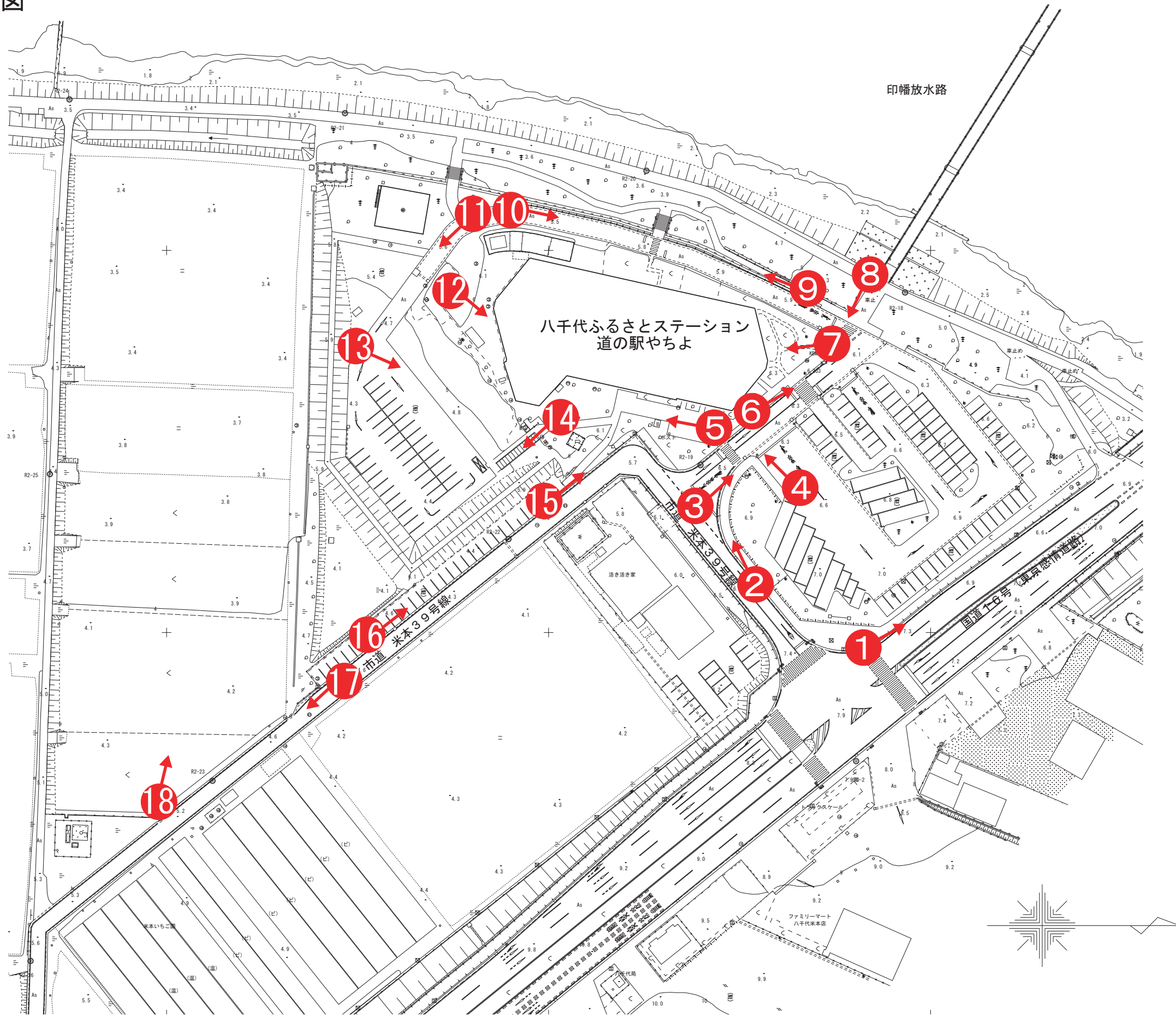
3 景観形成に寄与できる 公共建築づくり

- ① 機能的なデザイン
- ② 景観形成をリードする建築

- ・装飾性や流行にとらわれず、公共性の高い意匠を提案する。
- ・威圧感を抑え、周辺地域の街並みとの融合を図る。
- ・自然環境との親和性をテーマとした、温かみと持続性のある立面計画とする。

(2) 敷地現況図

1. 計画条件



1
敷地写真撮影点



